

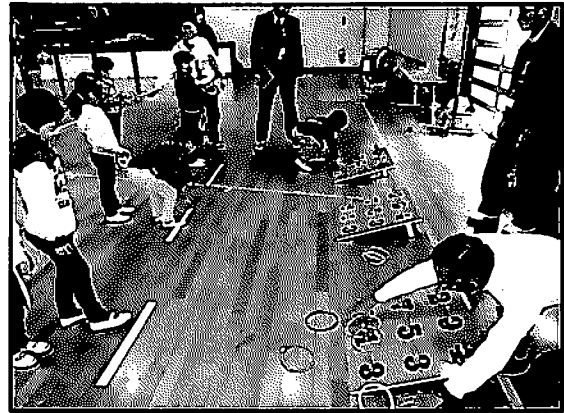
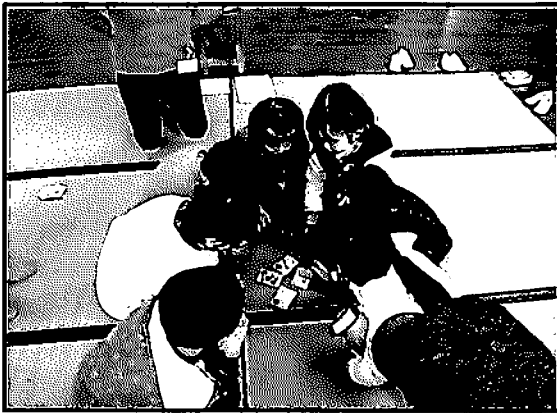
令和元年度

印旛地区教育研究集会

生活科分科会 提案資料

研究主題

自ら学び、思いや考えを進んで表現できる児童の育成
～地域人材、交流活動を活用した学習を通して～



第1部会 佐倉市立佐倉小学校

山本 純一郎

1 研究主題

自ら学び、思いや考えを進んで表現できる児童の育成
～地域人材，交流活動を活用した学習を通して～

2 主題設定の理由

(1) 新学習指導要領から

29年度に告示された新学習指導要領の総則第3「教育課程の実践と学習評価」の1として、「主体的・対話的で深い学びの実現」とある。その際、偏りなく実践するために、生活科において3つの柱が基本の構造とされた。

- (1) 知識及び技能の基礎
- (2) 思考力，判断力，表現力等の基礎
- (3) 学びに向かう力，人間性等

これらの3つを学校教育全体並びに各教科等の指導を通して、「資質・能力の育成」を目的に、教育活動の充実を図ることが求められている。

生活科の目標としては、具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を次の通り育成することを目指す。

- (1) 活動や体験の過程において、自分自身，身近な人々，社会及び自然の特徴やよさ，それらの関わり等に気付くとともに，生活上必要な習慣や技能を身に付けるようにする。

(知識及び技能の基礎)

- (2) 身近な人々，社会及び自然を自分との関わりで捉え，自分自身や自分の生活について考え，表現することができるようにする。

(思考力，判断力，表現力等の基礎)

- (3) 身近な人々，社会及び自然に自ら働きかけ，意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。

(学びに向かう力，人間性等)

以上で示された3つを柱として、「主体的・対話的で深い学び」となるような学習計画を立て、授業を実践していく必要があると考えた。

(2) 学校教育目標から

本校の学校教育は、「『自ら学び、豊かな感性と情緒を備え、たくましく生きる子供』の育成」である。

目指す児童像として、以下のことを掲げている。

○かしこく《知育》…学び方を知り、進んで学習します。

○心やさしく《徳育》…心を大切にし、友達と仲よく助け合います。

○たくましく《体育》…自分の体のことをよく知り、心と体をきたえます。

学校教育目標を受け、本校の生活科では、「身近な人と進んで関わろうとする児童の育成」を重点目標に取り組んでいる。体験したことを通して、気付いたことを友達と伝え合い、そこから新たな課題を見つけて次の体験に進んで取り組むという流れが、目指す児童像の「かしこく《知育》」に当てはまるのではないかと考えた。

以上、新学習指導要領と学校教育目標から、主体的・対話的で深い学びを実現する児童の育成を目指して研究主題を設定した。そのために、本校では、地域人材と交流活動を学習の柱とした。

(3) 本研究主題について

本研究では、

「主体的」=自ら進んで学ぶこと

「対話的」=思いや考えを進んで表現すること

「深い学び」=新たな気付きや思いを次の体験につなげること

ととらえた。

そのために、**地域人材、交流活動を活用した学習**を実践していく。

本校の1年生は、毎年「市民カレッジ」の方々を招き、昔遊びを通して交流活動を行っている。「市民カレッジ」とは、佐倉市中央公民館主催による「少子・高齢化の中で、市民が健康で生きがいをもちながら郷土愛を育み、地域の中で連帯をもちながら住みよいまちづくりを考え行動していく主役として、共に学び行動する仲間づくりと、生涯を通じた学習活動を支援する」学習事業である。市内に在住する40歳以上で、4年間継続して通学でき、卒業後は地域活動に積極的に参加できる方々を対象としている。「むかしあそび大会」での交流前には、会場確認、道具のメンテナンス等を行っていただいた。当日には、78名が来校した。このように地域から大人数を招待する大がかりな学習活動は、本校における独自の生活科学習单元といえる。

伝承的遊びで地域のお年寄りと交流することを通し、「名人のようになりたい」「地域にはすごい人がいる」という気持ちをもつことができる。また、お年寄りの知恵が「難しいことを乗り越える手助けとなる」と感じるができる。そして、できるようになった喜びを教えてあげたいという思いにつなげることができると考えた。

このように地域人材と交流活動を柱に学習を実践していくことが、本校における「主体的・対話的で深い学びの実現」への研究であると考えた。

3 研究仮説

研究主題にせまるため、本研究では2つの仮説を設定した。

仮説①

地域人材を活用した学習を展開すれば、自分と課題のつながりを感じられるようになり、自ら学ぼうという意識が高まるだろう。

1. 地域とのつながりを意識させるための手立て

- ・自分達の生活が地域の人々に支えられている意識が低いという実態がある。(資料編 P 9 参照) そこで、市民カレッジの方々を佐倉小に招き昔遊びで交流するという活動を単元の導入で伝え、喜んでもらうために何ができるかを考えさせる。そうすることで、自分達が暮らす佐倉市とのつながりを意識した交流活動になり、地域の人々と触れ合うことの楽しさに気付くことができると考える。

2. 学ぶ意識を高めるための手立て

- ・単元の導入で、市民カレッジの方々が毎年1年生と交流することを楽しみにしながら準備や練習に取り組んでいることを伝える。そうすることで、感謝の気持ちをもって自ら進んで交流することができると考える。そして、市民カレッジの方々に喜んでもらえれば、「また昔遊びをやってみたい」という気持ちが高まり、次時からの「昔遊びのおもしろいところを伝える」活動に対し、意欲的に取り組むことができると考える。

仮説②

校内外における意図的な交流活動を設定すれば、課題に対する理解が深まり、思いや考えを進んで表現できるようになるだろう。

1. 「むかしあそび大会」での着目点の明確化

- ・友達に自分の知っていることを教えることが苦手な児童がいる。(資料編 P 9 参照) そこで、本単元の最後に「昔遊びの先生になって友達と昔遊びを楽しむ」交流活動を行う。事前指導として、自分が先生になった時に市民カレッジの方々の教え方や、教える際に使う言葉がとても参考になることを伝える。そうすることで、ただ漠然と「むかしあそび大会」を楽しむだけでなく、相手に分かりやすく伝えるための話し方や、上手な昔遊びのやり方に着目した学習活動になると考える。

2. 相手を意識した表現活動

- ・友達との教え合い活動では、自分達のグループが行った3つの昔遊びから1つを選ばせる。昔遊びのおもしろいところを伝えたり、やり方を教えたりする時には、相手に分かりやすく伝える意識を常にもたせるように支援する。また、伝える時の観点として、遊び方や上手に遊ぶ「こつ」等、ポイントを伝えるように示す。そうすることで、今後の表現活動に対する自信と技能を育てたいと考える。

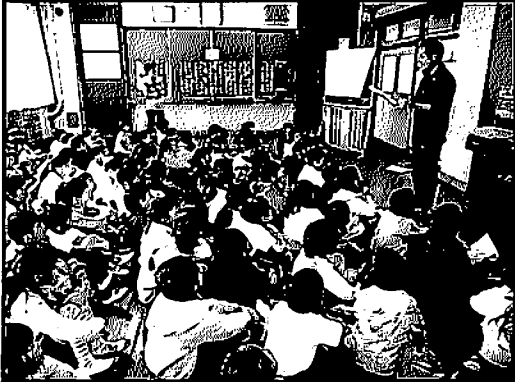
4 実践例

1 単元名 むかしあそびをたのしもう ～ 市民カレッジの方々との交流を通して ～

2 単元の目標

- 昔遊びに興味をもち、市民カレッジの方々や友達と進んで関わろうとする。
(生活への関心・意欲・態度)
- 昔遊びの楽しさを友達に伝えることができる。(活動や体験についての思考・表現)
- 昔遊びの技や楽しさに気付くことができる。(身近な環境や自分についての気付き)

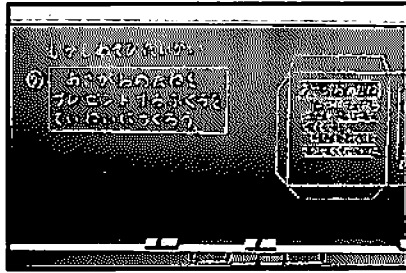
3 指導計画(19時間扱い)

時配	主な学習活動	評価規準(評価の観点・評価方法)
5	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>むかしあそびのせんせいをしょうたいしよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・単元のまとめが「昔遊びの先生になって友達と昔遊びを楽しむ」交流活動であることを伝え、学習の意欲を高める。 ・市民カレッジの方々を招き、「むかしあそび大会」で交流することを伝え、佐倉小に招待するために自分達にできることについて考える。 ・自分達が育てたアサガオの種をプレゼントする準備をする。 ・「はじめの会」と「おわりの会」の代表の児童を決め、会の流れを学級や学年で練習する。 ・昔遊びを一緒に行うグループのメンバーや、自分が教えてもらう昔遊びの種類、「むかしあそび大会」の流れを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元のまとめが「昔遊びの先生になって友達と昔遊びを楽しむ」交流活動であることを知り、意欲的に取り組もうとしている。 (関心・意欲・態度)【態度】 ・心を込めて種のプレゼントを準備しようとしている。 (関心・意欲・態度)【行動】 ・佐倉小に招待するために自分達にできることについて考えている。 (思考・表現)【発表】 ・佐倉の地域の人々との交流が自分達の成長に関わっていることに気付いている。 (気付き)【発言・発表】
<p>【単元導入の様子】(仮説①の検証)</p>		
<p>単元のまとめが「昔遊びの先生になって友達と昔遊びを楽しむ」交流活動であることを知り、意欲的に取り組もうとしている様子や、佐倉小に招待するために自分達にできることについて考えている様子が見られた。また、「はじめの会」と「おわりの会」の練習に対しても、学年全体で取り組もうという意識のもと、代表の児童だけでなく一人一人が進んで練習に取り組む様子が見られた。</p>		
<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;">  </div> <div style="flex: 1; padding-left: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 20px;"> <p>○学年全体での導入場面 単元のまとめを確認し、学習の流れを話し合った。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・昔遊びを楽しみたいな。 ・地域の昔遊びの先生ってどんな人達だろう。 ・ぼくも昔遊びの先生になれるかな。 ・上手になって友達に教えられようように頑張ろう。 </div> </div> </div>		

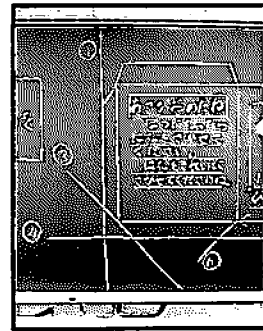
【「種のプレゼント作り」の様子】(仮説①の検証)

心を込めて「種のプレゼント」を作っていた。線に沿ってはさみで切ったり、文字や絵を丁寧にいかたりすることに、集中して取り組んでいた。

○学習のめあてと見本
種の袋の見本を大きく書いて示した。

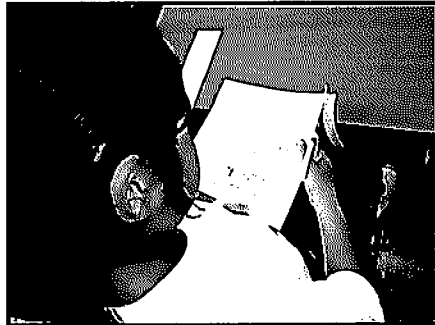


○紙を切る順序
一斉指導の工夫として、はさみで切る順序を示した。※②⑤は写っていないが黒板には書いた。



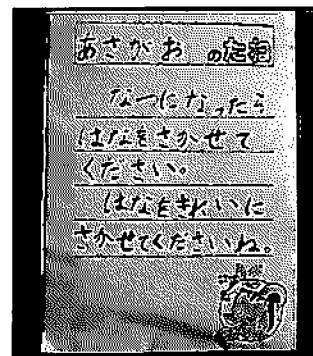
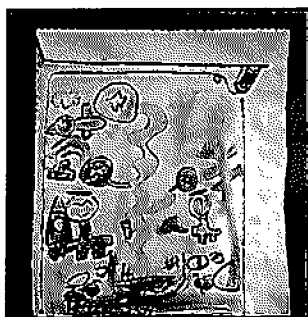
- ・黒板の順序通りに切ろう。
- ・集中しよう。
- ・丁寧に切ろう。

- ・大切に育てたアサガオから取れた種を慎重に入れよう。
- ・数は10個、間違えないように入れなくちゃ。



- ・のりを貼ったら出来上がり。
- ・絵も上手に描けたよ。

- ・心を込めて文を書いたよ。
- ・文字も丁寧に書けたよ。
- ・思いが伝わるといいな。



【初めてのグループ活動の様子】(仮説②の検証)

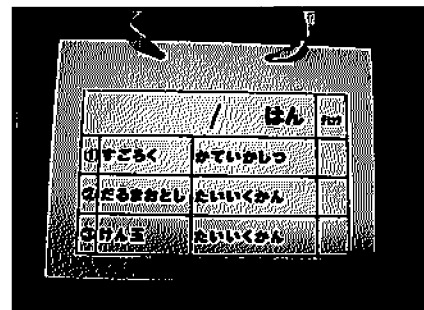
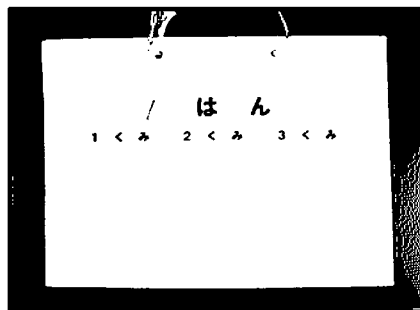
3クラス混合のグループ分け。初めて話をするメンバーに対して最初は緊張している様子が見られたが、自己紹介を行うことで多くの笑顔が見られた。また、カードを基にして、自分達が教えてもらう昔遊びの種類と順番を確認している様子が見られた。

- ・初めて話をするメンバーがいるな。
- ・名前を覚えなくちゃ。
- ・違うクラスの友達ができてうれしい。
- ・仲よく楽しく行動したいな。

- ・私たちが教えてもらう昔遊びの種類が書いてあるね。
- ・遊ぶ順番も覚えようよ。



○リーダーが首にかけるカード
両面で、グループのメンバーと、自分達が教えてもらう昔遊びの種類と順番が書かれている。



2

「むかしあそび大会」をたのしもう。

- ・市民カレッジの方々から昔遊びを教えてもらいながら一緒に遊ぶ。
- ※1クラスを13グループに分け、1組から3組までの混合チームとする。
- ※各グループが3つの遊びをローテーションする。
- ※1つの遊びは、移動を含め25分とする。

・昔遊びに興味をもち、進んで関わろうとしている。

(関心・意欲・態度)【発言・態度】

・市民カレッジの方々に昔遊びを教えてもらい、楽しく遊んだことを表現している。

(思考・表現)【発言・行動】

・昔遊びの技や楽しさに気付いている。

(気付き)【発言・行動】

種類	ローテーション	場所
すごろく	1 → 2 → 3班	家庭科室
かるた	2 → 3 → 4班	多目的室
あやとり	3 → 4 → 5班	図工室
折り紙	4 → 5 → 6班	
はねつき	5 → 6 → 7班	体育館
おはじき	6 → 7 → 8班	
輪投げ	7 → 8 → 9班	
ビー玉	8 → 9 → 10班	
お手玉	9 → 10 → 11班	
こま	10 → 11 → 12班	
めんこ	11 → 12 → 13班	
けん玉	12 → 13 → 1班	
だるまおとし	13 → 1 → 2班	

・「はじめの会」と「おわりの会」を行い、「おわりの会」では、みんなで感謝の気持ちを伝える。

【「はじめの会」の様子】(仮説①の検証)

代表の児童は、大きな声で堂々と司会をしたり歓迎の言葉を伝えたりすることができた。また、「むかしあそび大会」を迎えるまでに、昔遊びの練習や準備等をしてくださった市民カレッジの方々に対し、「よろしくお願ひします」の気持ちを全員で伝えることができた。児童は、これから始まる「むかしあそび大会」をととても楽しみにしている様子が見られた。

○体育館で初めての対面
お互いが13グループに分かれ、向き合う形で座った。



ぼくたちが「むかしあそび大会」を楽しみにしている気持ちを、大きな声ではっきりと伝えよう。



司会として「はじめの会」をしっかり進めるぞ。



○市民カレッジ代表のあいさつ
市民カレッジの方々からも、児童との交流をととても楽しみにしている様子がよく伝わった。



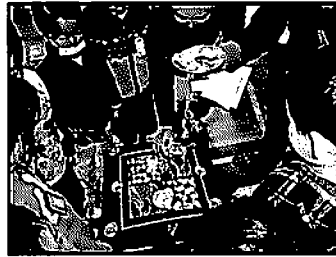
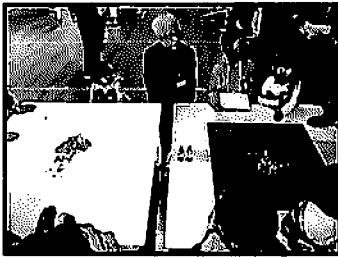
【「むかしあそび大会」の様子】(仮説②の検証)

児童は、自分も「むかしあそびのせんせい」になって友達に教えてあげたいという思いをもちながら、市民カレッジの方々を「せんせい」として進んで関わり教わろうとしていた。また、上手にやるための「こつ」や「知恵」を聞きながら、昔遊びを心から楽しんでいる様子が見られた。※「むかしあそび大会」の事前に、単元のまとめが「昔遊びの先生になって友達と昔遊びを楽しむ」であることを、再度確認してから昔遊びを行わせた。

おはじきには、場の作りと遊び方があるんだね。友達に教えよう。

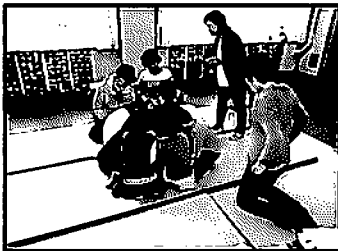
めんこは、台の上に座布団を敷いてやるとやりやすいんだね。投げ方も分かったよ。

【体育館】



○4つの会場で13の昔遊び
・各グループが3つの遊びをローテーションする。
・1つの遊びは、移動を含めて25分とする。

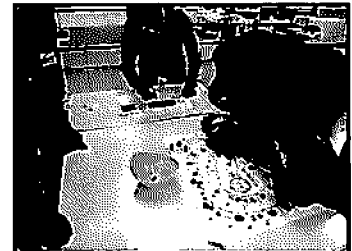
【多目的室】



【図工室】



【家庭科室】



かるたは、畳の上でやるんだね。礼儀作法も教わったよ。

あやとりの技と上手にやる「こつ」を覚えて友達に伝えたいな。

すごろくのやり方を分かりやすく教えてもらうれしいな。

※この他に8つの遊びが行われた。

【「おわりの会」の様子】(仮説①の検証)

代表の児童は、「感想」と「お礼の言葉」を自分の言葉で伝えることができた。また、種のプレゼントを渡し、市民カレッジの方々からプレゼンを受け取る際には、「ありがとうございました」ときちんと伝えることができた。そして、最後に児童全員で感謝の気持ちを伝えることができた。児童から充実感が伝わってきた。

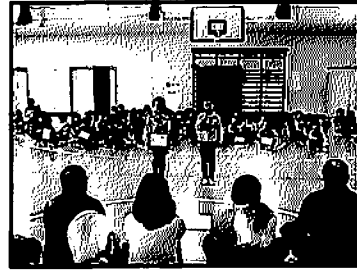
感想発表

みんなの代表として、しっかり伝えよう。



お礼の言葉

頑張って練習してきたんだから、自信をもって伝えよう。



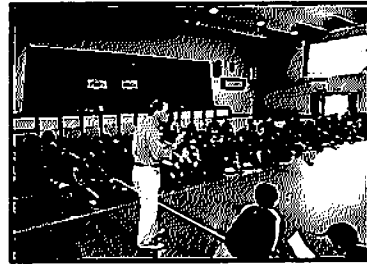
プレゼント交換

私たちが大切に育てたアサガオの種。心を込めて渡そう。喜んでもらえるといいな。



○市民カレッジ代表のあいさつ

市民カレッジの方々も、とても楽しかった様子が伝わってきた。



5

むかしあそびのおもしろいところをともだちにつたえよう。

- ・「むかしあそび大会」を振り返り、昔遊びのおもしろいところを生活科カードに書く。
- ・市民カレッジの方々からは1グループ3つの昔遊びしか教わっていないので、教わっていない友達に昔遊びのおもしろいところを伝える練習をする。
※2人か3人のグループで伝える。
※伝える遊びは、各グループで1つ。2人か3人で昔遊びのおもしろいところを伝えたり、実演したりする。
※練習する時は、市民カレッジの方々の教え方や言葉を参考にする。
- ・昔遊びのおもしろいところを友達に伝える。
※学習の場は、机を教室の後ろに下げ、椅子をコの字に並べる。

・昔遊びのおもしろいところを進んで友達に伝えようとしている。

(関心・意欲・態度)【発言・態度】

・昔遊びのおもしろいところを友達に分かりやすく伝えている。

(思考・表現)【説明・行動】

・教わった昔遊びの楽しさに気付いている。

(気付き)【発言】

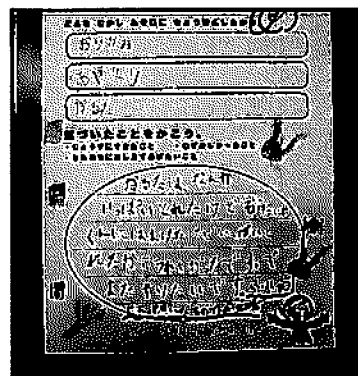
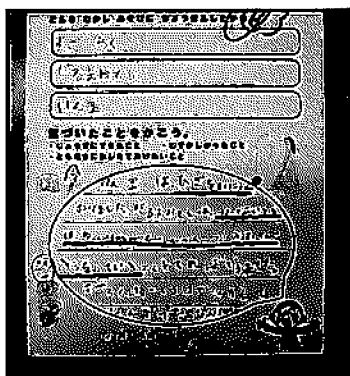
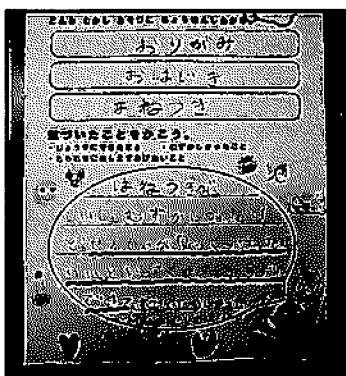
【「振り返りカード」から分かったこと】(仮説①②の検証)

教わったり、やってみたりして分かった昔遊びを上手にやる「こつ」や、「友達に分かりやすく教えてあげたい」「友達と楽しく遊びたい」と書いている児童が多かった。そのことから、単元のまとめである「昔遊びの先生になって友達と昔遊びを楽しむ」ことを意識しながら取り組んでいたことが分かった。また、市民カレッジの方々に対する感謝の気持ちも多くの子が書いていた。 → 本研究における「主体的」で「深い学び」の実現

市民カレッジの方々に教えてもらってうれしかった気持ちが伝わってくる。

上手にやる「こつ」がくわしく書かれている。自分が先生になることを意識しながら取り組んでいた様子が伝わってくる。

単元のまとめである「昔遊びの先生になって友達と昔遊びを楽しむ」という気持ちが伝わってくる。



【昔遊びのおもしろいところを友達に伝える様子】(仮説②の検証)

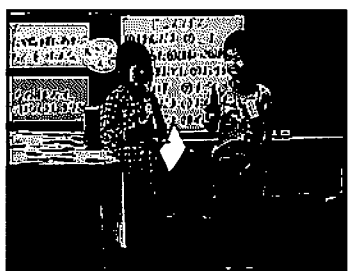
どのグループも、昔遊びのおもしろいところや、やり方を相手に分かりやすく伝える意識をもって進んで練習に取り組んでいた。本番では、練習の成果を発揮し、自信をもって堂々と伝えていた。また、グループごとに分かりやすく伝えるための工夫が見られ、原稿を用意したり、場を設定したり、役割担当を決めたりする様子が見られた。

→ 本研究における「主体的」で「対話的」な児童の様子

(けん玉)

(こま)

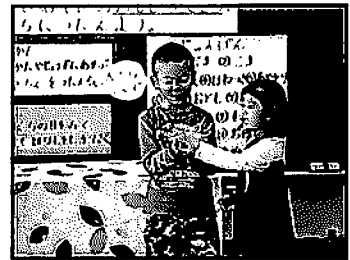
原稿の用意
上手にやる「こつ」をみんなに分かりやすく伝えよう。



(はねつき)

(あやとり)

役割分担の明確化
わたしが言葉で伝えるから、上手にできるきみがやってみんなに見せてよ。

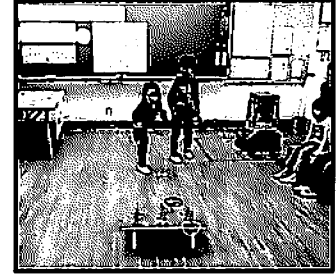


(かるた)

(輪投げ)

場の工夫

昔遊びの先生に教わったことを伝えるために、見せ方も大切にしよう。

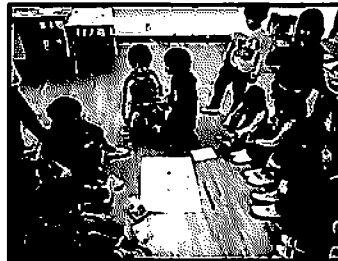


※他にもビー玉、だるまおとし、めんこで場の工夫が見られた。

(すごろく)

(折り紙)

昔遊びのおもしろいところを実際にやってみよう。みんなが興味をもってくれるように頑張るぞ。



※他にもおて玉、おはじきで興味をもてるような工夫が見られた。

1

じぶんも「むかしあそびのせんせい」になれるように、れんしゅうしよう。

・前時で自分が伝えた昔遊びの「先生」になれるように、教え方を考え練習をする。

・教える練習を進んでしようとしている。
(関心・意欲・態度)【態度】
・相手に分かりやすい教え方に気付いている。
(気付き)【発言・行動】

6

むかしあそびのせんせいになって、ともだちとむかしあそびをたのしもう。

・昔遊びの先生になって、友達に昔遊びを教える。
※1時間の授業で3つの遊びをする。
※1つの遊びの説明と遊ぶ時間を約12分間とする。
・昔遊びの先生になって、友達と昔遊びをして気付いたことを振り返りカードに書く。

・教わった昔遊びを友達と仲良く遊ぼうとしている。
(関心・意欲・態度)【発言・態度】
・昔遊びの先生になって友達に分かりやすく教えている。(思考・表現)【説明・行動】
・昔遊びの技や楽しさに気付いている。
(気付き)【発言・行動】

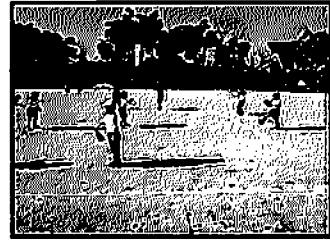
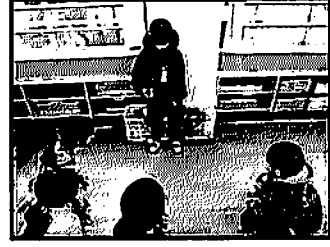
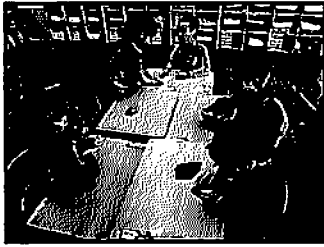
【昔遊びの先生になって、友達に昔遊びを教える様子】(仮説②の検証)

昔遊びのおもしろいところや、やり方を相手に分かりやすく教えていた。また、友達に教わった昔遊びを約束やきまりを守りながら、楽しく遊んでいる様子が見られた。

→ 本研究における「主体的」で「対話的」な児童の様子

教え合い
やり方が分からない友達に対して親切に教えている様子が見られた。

見方・待ち方
自分の順番でない時は、手を止めて友達のやっている様子をしっかりと見たり、待ったりすることができた。



礼儀作法
畳の上で正座になって行っている。

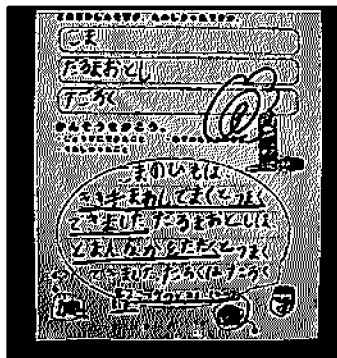
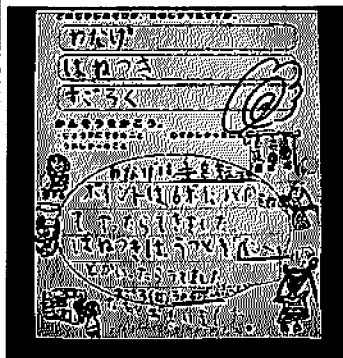
上手にできるようになって楽しいな。

校庭でやるはねつきは気持ちがいいね。

【「振り返りカード」から分かったこと】(仮説②の検証)

多くの児童の振り返りカードから、昔遊びを友達と仲良く遊んだ様子や、昔遊びの技を上手にやるための「コツ」、楽しさに気付いていることが伝わってきた。

→ 本研究における「主体的」で「深い学び」の実現



友達から教わった昔遊びを楽しんだ様子、遊びながら自分で気付いた上手にやるための「コツ」、みんなとまたやってみようという気持ちがカードにたくさん書かれていた。

5 結論

〈成果〉

- 単元全体の学習計画や、活動した様子を教室に掲示したことで(※資料編P1, 2参照)、自主的に学習の見直しを確認したり、振り返ったりしている様子が見られた。
- 自分も「昔遊びの先生」になって友達に教えてあげたいという思いをもちながら進んで学習に取り組むことができた。
- 教わったことを活かそうとしたり、心から感謝の気持ちを伝えたり、手紙を書いたりするなど、単元全体を通して、市民カレッジの方々と進んで関わる様子が見られた。また、佐倉市との結びつきや、地域の人々と触れ合うことの楽しさに気付くことができた。
- 「昔遊びのおもしろいところを友達に伝える」活動では、原稿を用意したり、場を設定したり、役割担当を決めたりするなど、グループごとに分かりやすく伝えるための工夫が見られた。
- 単元のまとめである「昔遊びの先生になって友達と昔遊びを楽しむ」交流活動では、昔遊びのおもしろいところや、やり方を相手に分かりやすく教えていた。
- 友達と交流しながら、昔遊びを心から楽しんでいた。

〈課題〉

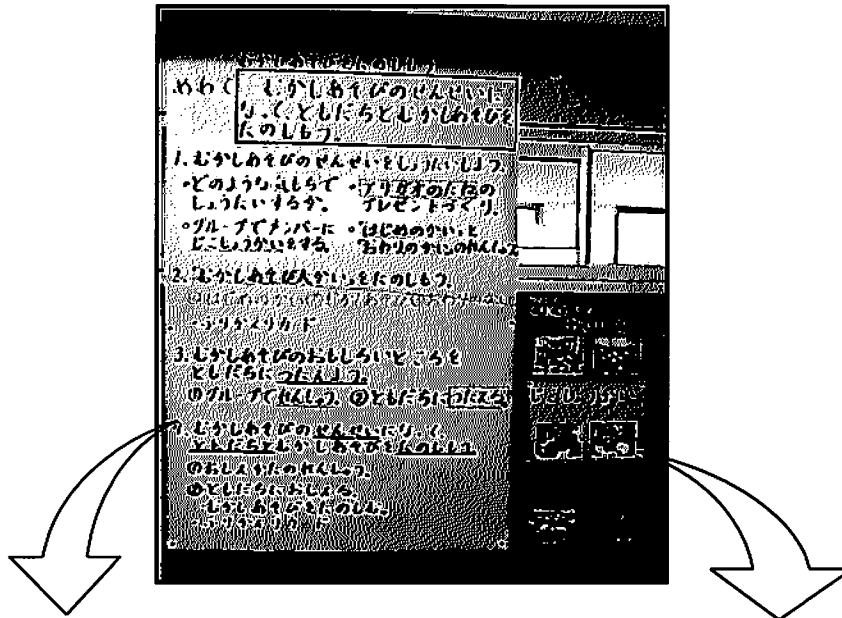
- 市民カレッジの方々との交流は、昔遊びの交流1回で終わってしまうので、秋の町探検での訪問など、2年生になっても交流できるような指導計画を立てていきたい。
- 今回生活科で培った「地域人材を活用した学習」を総合的な学習でどのように生かしていくかを再検討し、生活科から総合的な学習への移行をスムーズにできるように学校全体で手立てを考えていく必要がある。
- 「校外外における意図的な交流活動」については、今後も教師がアイデアを出し合い考えていきたい。また、生活科だけでなく他教科全般にいえることであるが、児童が思いや考えを進んで表現できるような学習活動が行えるように教材研究を行っていく必要がある。

資 料 編

① 教室掲示

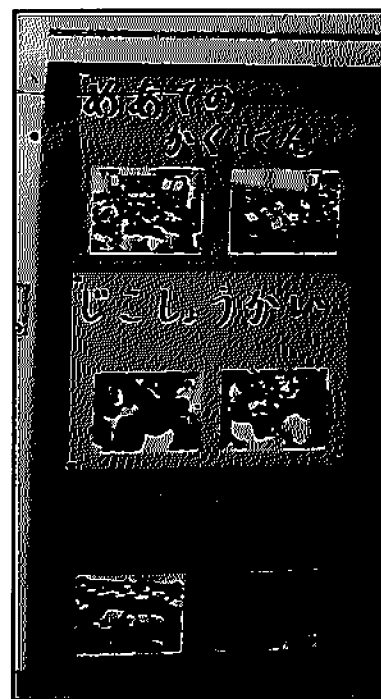
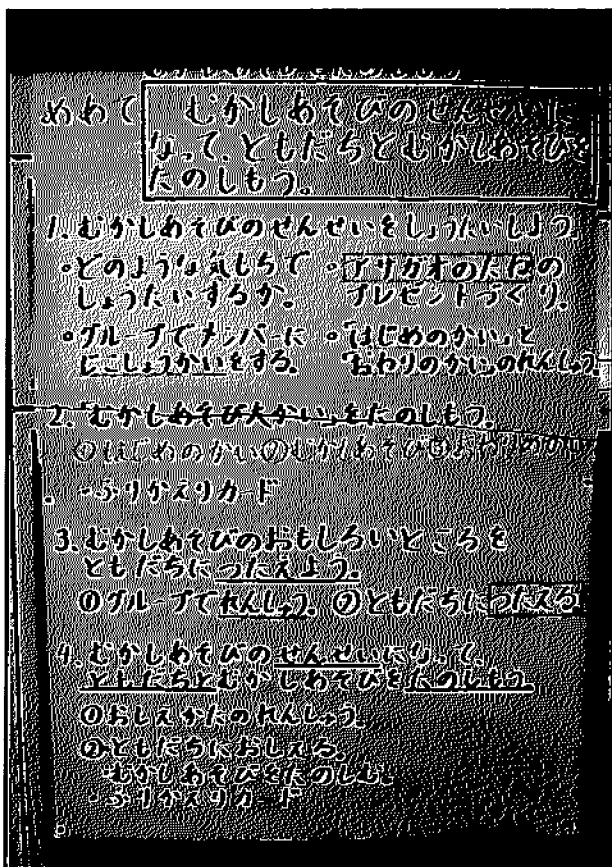
児童が学習の流れを確認したり、振り返ったりできるように、
単元計画 → 単元の導入（めあてのかくにん） → グループでの自己紹介 → アサガオの種のプレゼント作り → むかしあそび大会 → むかしあそび大会の振り返り
 の順に大きく掲示物を貼った。

(教室廊下側の左)

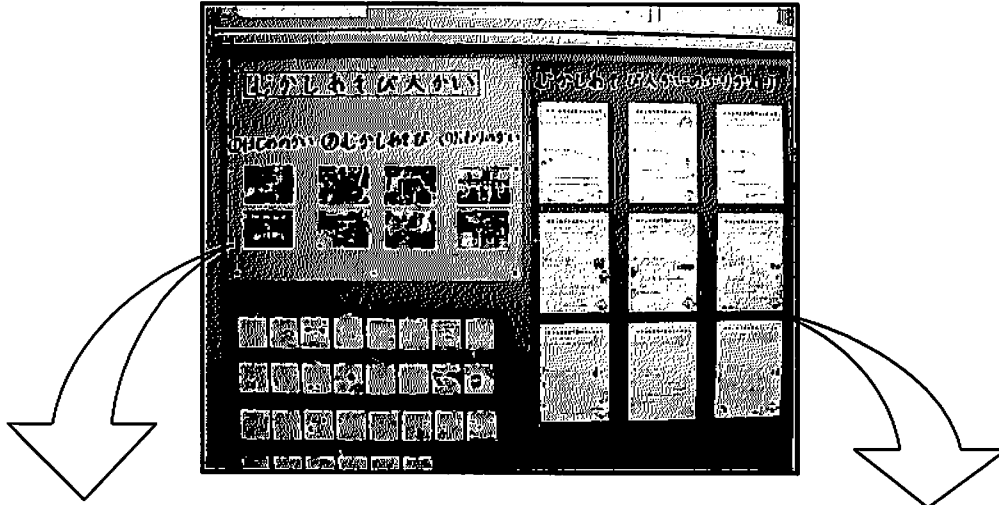


〈単元計画〉

上：単元の導入（めあてのかくにん）
 中：グループでの自己紹介
 下：アサガオの種のプレゼント作り



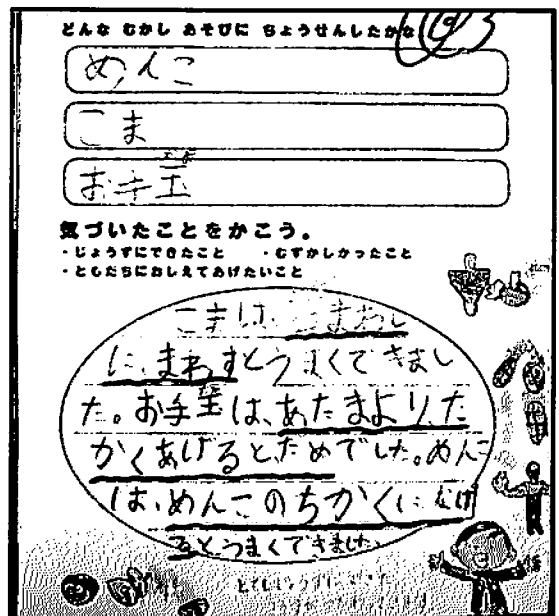
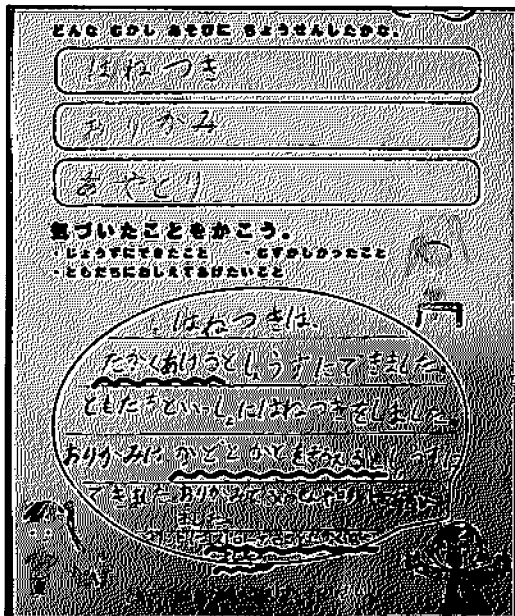
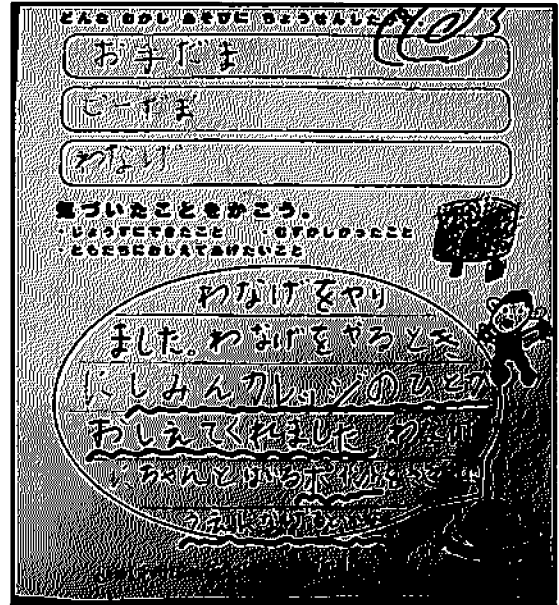
(教室廊下側の右)



<むかしあそび大会>



<むかしあそび大会の振り返りカード>



どんなおかしな事にしようかしら？

めんこ

こま

お手紙

気づいたことをかこう。
 ・しうてんごご　・おかしごご
 ・とまごしあつたご

めんこは、めんこ
 こまは、こま
 お手紙は、お手紙
 ぜんぜんおかしな事
 していません。

どんなおかしな事にしようかしら？

けん玉

めんこ

コマ

気づいたことをかこう。
 ・しうてんごご　・おかしごご
 ・とまごしあつたご

けん玉をやるときは、めんこ
 をかえりまわりました。めんこ
 をやる時は、けん玉を
 回してまわりました。けん玉
 をやる時は、けん玉を
 回してまわりました。

どんなおかしな事にしようかしら？

お手紙

こま

けん玉

気づいたことをかこう。
 ・しうてんごご　・おかしごご
 ・とまごしあつたご

お手紙は、
 手紙をみたくて
 書いた。けん玉は、
 けん玉を回して
 遊ぶ。こまは、
 こまを回して
 遊ぶ。

どんなおかしな事にしようかしら？

おりがみ

おはじき

まねつき

気づいたことをかこう。
 ・しうてんごご　・おかしごご
 ・とまごしあつたご

おはじきは、
 おはじきを
 遊ぶ。まねつきは、
 まねつきを
 遊ぶ。

どんなおかしな事にしようかしら？

けん玉

おはじき

けん玉

気づいたことをかこう。
 ・しうてんごご　・おかしごご
 ・とまごしあつたご

けん玉は、けん玉
 を回して遊ぶ。おはじき
 は、おはじきを
 遊ぶ。けん玉は、
 けん玉を回して
 遊ぶ。

どんなおかしな事にしようかしら？

おりがみ

おはじき

けん玉

気づいたことをかこう。
 ・しうてんごご　・おかしごご
 ・とまごしあつたご

おはじきは、おはじき
 を遊ぶ。けん玉は、
 けん玉を回して
 遊ぶ。おはじきは、
 おはじきを遊ぶ。

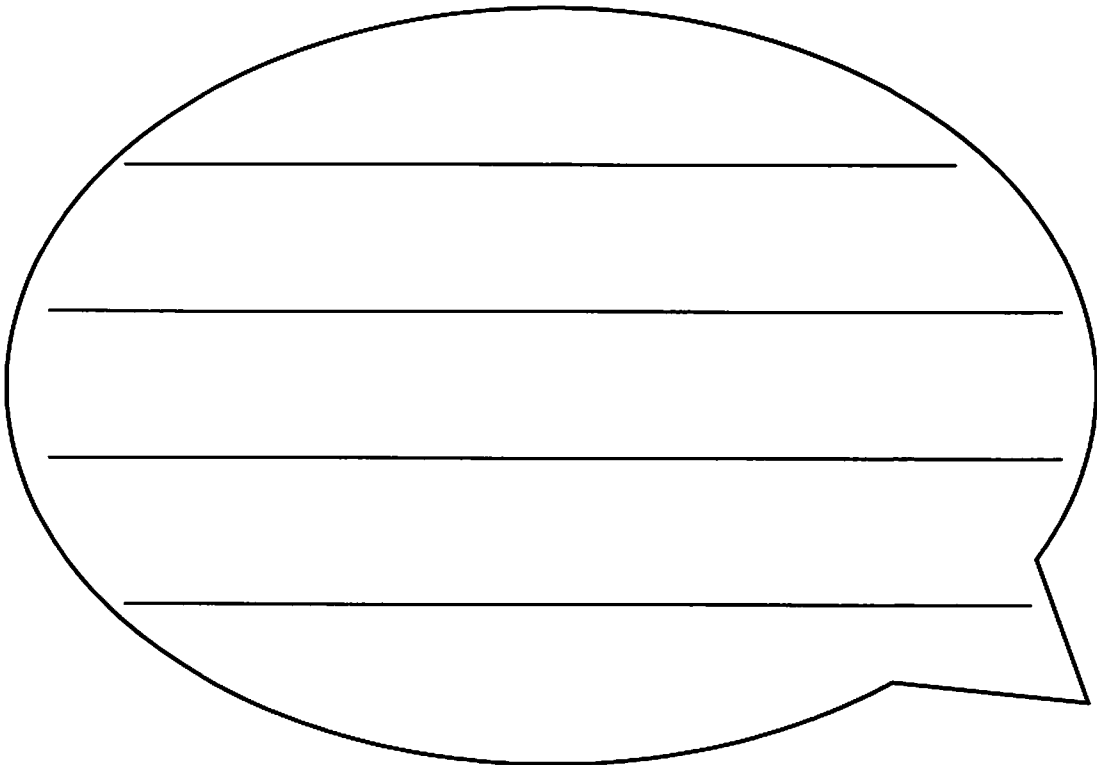
むかしあそび^{たいかい}大会のふりかえり

月 日 なまえ()

どんな むかし あそびに ちょうせんしたかな。

気づいたことをかこう。

- ・じょうずにできたこと
- ・むずかしかったこと
- ・ともだちにおしえてあげたいこと



②遊ぶ種類が書かれたグループ表

市民カレッジ交流 むかしあそび大会

(30組)

班	名前	①	②	③
1	あやの つぶさ	まごころ	たのし な遊び	けん玉
2	ももか ひろと	からん	まごころ	けん玉 びんし
3	ゆいゆう りお	みやどり	からん	まごころ
4	れお らいや	けうのみ	みやどり	からん
5	あさ えいこ	はねつぎ	けうのみ	みやどり
6	のは けんじ	おほしぎ	はねつぎ	けうのみ
7	かんだ ゆうき	おなげ	おほしぎ	はねつぎ
8	おまこ こうけい ふうみほ	ビー玉	おなげ	おほしぎ
9	はる はると せりび	お手玉	ビー玉	おなげ
10	たつや ゆうり みか	こま	お手玉	ビー玉
11	えいた ゆず おわ	めんこ	こま	お手玉
12	そら さわ	けん玉	めんこ	こま
13	ぜん あつわ	けん玉 めんこ	けん玉	めんこ

各グループのメンバーの個性や特徴が、このグループ表に反映されています。また、各グループのメンバーは、このグループ表に基づいて、自分たちが遊んだ遊びの種類を記入しています。

③市民カレッジの方々へのお手紙

学級の児童30人が13種類の昔遊びの先生方にお礼のお手紙を書いた。一人が13枚書くのではなく、自分が教わった3種類の先生の内2枚を書くようにした。そうすることで、1種類の昔遊びの先生に数枚の手紙が届くような形にした。



④単元のまとめ：友達と昔遊びを楽しむ

(お手玉)



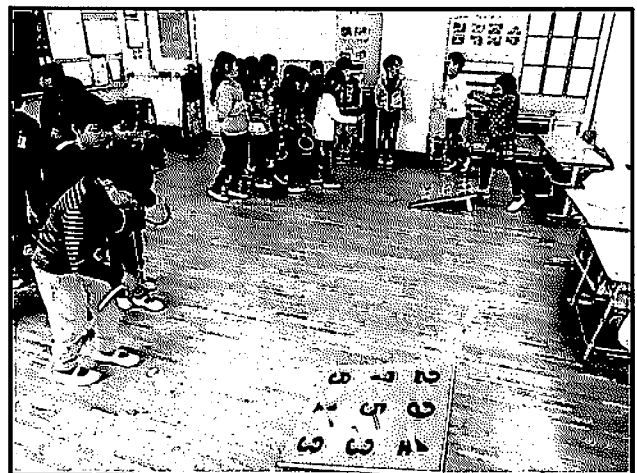
(めんこ)



(かるた)



(わなげ)



(あやとり)



(はねつき)



⑤ 昔遊びの振り返りカード

どのおかしな遊びが、たのしかったですか。

だるまおとし

わなげ

すく

かんそうをかこう。

- ・じょうずでできたこと
- ・おかしな遊び
- ・たのしかったこと

だるまおとしはかま
 入れのじょうずは
 ました。わなげは12月
 ンリでやりました。すく
 くはみんながたのしく
 ました。

どのおかしな遊びが、たのしかったですか。

たのまおとし

かるた

お守り

かんそうをかこう。

- ・じょうずでできたこと
- ・おかしな遊び
- ・たのしかったこと

さいしよのしよ
 のはたのまおとしの
 かるたを、お守り
 といふ、みんな
 した。たのしく
 ました。

どのおかしな遊びが、たのしかったですか。

こま

だるまおとし

すく

かんそうをかこう。

- ・じょうずでできたこと
- ・おかしな遊び
- ・たのしかったこと

こまのひもは、
 ききまわしてまくと
 できました。だるまおとしは、
 とまんねかをたたくと
 できました。すくはすく

どのおかしな遊びが、たのしかったですか。

かるた

おぼしき

わなげ

かんそうをかこう。

- ・じょうずでできたこと
- ・おかしな遊び
- ・たのしかったこと

わなげはしらくみ
 あかきみてたいけつ
 しました。しらくみか
 ました。たのしく
 ました。かるたは、おぼし
 きは、おぼしき

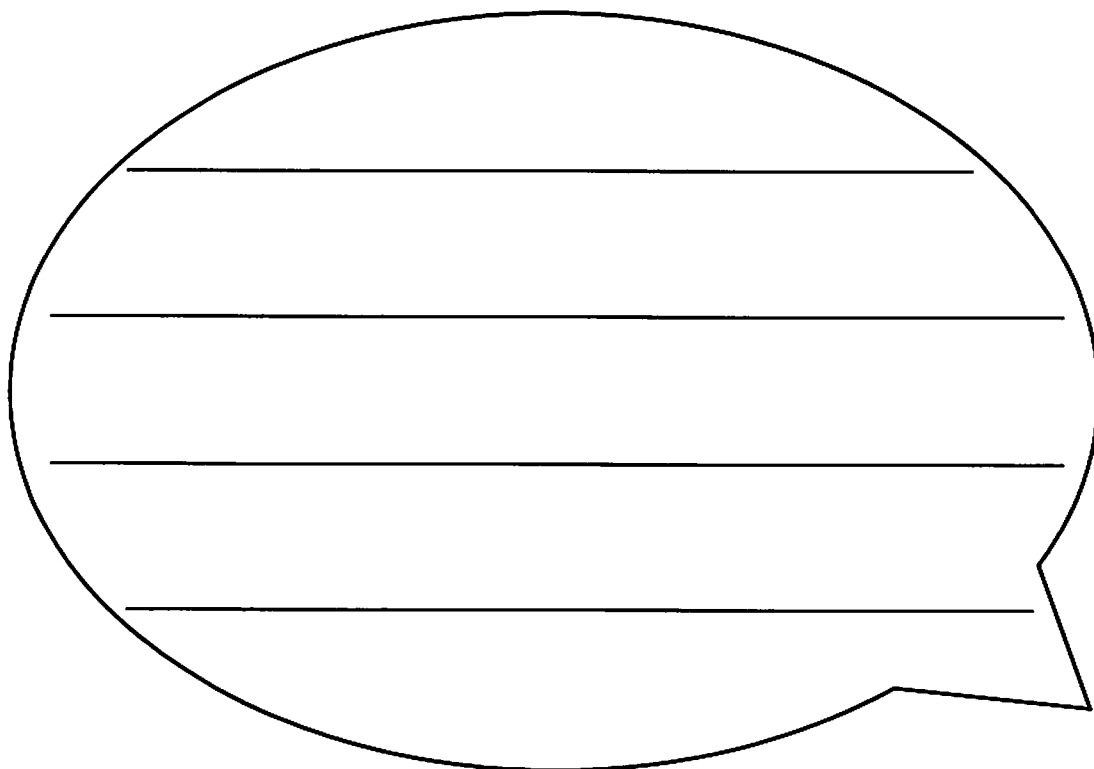
むかしあそびのふりかえり

月 日 なまえ()

どのむかしあそびが、たのしかったですか。

かんそうをかこう。

- ・じょうずにできたこと
- ・むずかしかったこと
- ・うれしかったこと



指導案

第1学年3組 生活科学習指導案

授業者 山本 純一郎

1 単元名 むかしあそびをたのしもう ～ 市民カレッジの方々との交流を通して ～

2 単元について

(1) 単元観

本単元は、2内容(3)「地域に関わる活動を通して、地域の場所やそこで生活したり働いたりしている人々について考えることができ、自分たちの生活は様々な人や場所と関わっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、適切に接したり安全に生活したりしようとする。」と(5)「身近な自然を観察したり、季節や地域の行事に関わったりするなどの活動を通して、それらの違いや特徴を見付けることができ、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わること気付くとともに、それらを取り入れ自分の生活を楽しくしようとする。」と(8)「自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を通して、相手のことを想像したり伝えたいことや伝え方を選んだりすることができ、身近な人々と関わることよさや楽しさが分かるとともに、進んで触れ合い交流しようとする。」をもとに設定した。

本校の1年生は、毎年「市民カレッジ」の方々を招き、昔遊びを通して交流活動を行っている。「市民カレッジ」とは、佐倉市中央公民館主催による「少子・高齢化の中で、市民が健康で生きがいを持ちながら郷土愛を育み、地域の中で連帯をもちながら住みよいまちづくりを考え行動していく主役として、共に学び行動する仲間づくりと、生涯を通じた学習活動を支援する」学習事業である。市内に在住する40歳以上で、4年間継続して通学でき、卒業後は地域活動に積極的に参加できる方々を対象としている。「むかしあそび大会」での交流前には、会場確認、道具のメンテナンス等を行っていた。当日には、78名が来校した。このように地域から大人数を招待する大がかりな学習活動は、佐倉小における独自の生活科学習単元といえる。

伝承的遊びで地域のお年寄りと交流することを通し、「名人のようにになりたい」「地域にはすごい人がいる」という気持ちをもつことができる。また、お年寄りの知恵が「難しいことを乗り越える手助けとなる」と感じることができる。そして、できるようになった喜びを教えてあげたいという思いにつなげることができる。と考える。

(2) 児童の実態(男子18名、女子12名、計30名 実施日10月31日)

本学級の児童は、明るく素直で、いろいろなことに積極的に取り組むことができる。授業にも意欲的で、発表も多い。実態調査の結果、全員が「生活科が好き」と回答した。「どのような生活科の学習が好きでしたか。」の質問には、「2年生との学校探検や公園探検」と答えている児童がいた。今回市民カレッジの方々との交流があることを伝えたら、学級全体でとても楽しみにしている様子だった。

「地域の人々と交流はありますか。」の質問には、約5割の児童が「ある」と回答していた。「どんな交流ですか。」の問いには、「地域の方々との防犯パトロール」「地域集会への参加」「地域のスポーツ会」と答えた児童が数名いた。自分の家族や友達との交流は多くあるが、同じ佐倉に住む人々との世代を超えた交流はあまり行われていないことや、地域の方々が自分の生活を支えてくれていることに気付いていない児童が多くいることが分かった。

「どんな昔遊びを知っていますか。」の質問には、市民カレッジの方々から教えてもらうことになる昔遊びを「知っている」と答えた児童が約9割いた。また、「昔遊びを行ったことはありますか。」の質問には、全員がいくつかの昔遊びを「行ったことがある」と答えていた。現代は、ゲームやサッカーなどの球技で遊ぶ児童は多くいても、昔遊びを実際に体験したことのある児童は少ないと予想していたが、実際にはほぼ全員が昔遊びを知っていて、行った経験があることが分かった。

「友達に自分の知っていることを教える学習は好きですか。」の質問には、5割の児童が「好き」と回答していた。普段の生活や隣の友達に教えている様子からも、その気持ちが伝わってくる。その反面、「好き」と答えなかった児童も多くいる。まだ自分のことが精一杯であったり、教える体験をあまり経験していなかったりすることが理由として考えられる。

(3) 指導観

仮説①

地域教材を活用した学習を展開すれば、自分と課題のつながりを感じられるようになり、自ら学ぼうという意識が高まるだろう。

<地域とのつながりを意識させるための手立て>

- ・自分達の生活が地域の人々に支えられている意識が低いという実態がある。(資料編 P 9 参照) そこで、市民カレッジの方々を佐倉小に招き昔遊びで交流するという単元の導入で伝え、喜んでもらうために何が出来るかを考えさせる。そうすることで、自分達が暮らす佐倉市とのつながりを意識した交流活動になり、地域の人々と触れ合うことの楽しさに気付くことができると考える。

<学ぶ意識を高めるための手立て>

- ・単元の導入で、市民カレッジの方々が毎年1年生と交流することを楽しみにしながら準備や練習に取り組んでいることを伝える。そうすることで、感謝の気持ちをもって、自ら進んで交流することができると考える。そして、市民カレッジの方々に喜んでもらえれば、「また昔遊びをやってみたい」という気持ちがさらに高まり、次時からの「昔遊びのおもしろいところを伝える」活動に対し、意欲的に取り組むことができると考える。

仮説②

校内外における意図的な交流活動を設定すれば、課題に対する理解が深まり、思いや考えを進んで表現できるようになるだろう。

<「むかしあそび大会」での着目点の明確化>

- ・本単元の最後に「昔遊びの先生になって友達と昔遊びを楽しむ」交流活動を行う。事前指導として、自分が先生になった時に市民カレッジの方々の教え方や、教える際に使う言葉がとても参考になることを伝える。そうすることで、ただ漠然と「むかしあそび大会」を楽しむだけでなく、相手に分かりやすく伝えるための話し方や、上手な昔遊びのやり方に着目した学習活動になると考える。

<相手を意識した表現活動>

- ・友達との教え合い活動では、自分達のグループが行った3つの昔遊びから1つを選ばせる。昔遊びのおもしろいところを伝えたり、やり方を教えたりする時には、相手に分かりやすく伝える意識を常にもたせるように支援する。また、伝える時の観点として、遊び方や上手に遊ぶ「こつ」等、ポイントを伝えるように示す。そうすることで、今後の表現活動に対する自信と技能を育てたいと考える。

3 単元の目標

- 昔遊びに興味をもち、市民カレッジの方々や友達と進んで関わろうとする。(生活への関心・意欲・態度)
- 昔遊びの楽しさを友達に伝えることができる。(活動や体験についての思考・表現)
- 昔遊びの技や楽しさに気付くことができる。(身近な環境や自分についての気付き)

4 指導計画 (19時間扱い)

時配	主な学習活動	評価規準 (評価の観点・評価方法)
5	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> むかしあそびのせんせいをしょうたいしよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・単元のまとめが「昔遊びの先生になって友達と昔遊びを楽しむ」交流活動であることを伝え、学習の意欲を高める。 ・市民カレッジの方々を招き、「むかしあそび大会」で交流することを伝え、佐倉小に招待するために自分達にできることについて考える。 ・自分達が育てたアサガオの種をプレゼントする準備をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元のまとめが「昔遊びの先生になって友達と昔遊びを楽しむ」交流活動であることを知り、意欲的に取り組もうとしている。(関心・意欲・態度)【態度】 ・心を込めて種のプレゼントを準備しようとしている。(関心・意欲・態度)【行動】 ・佐倉小に招待するために自分達にできることについて考えている。(思考・表現)【発表】 ・佐倉の地域の人々との交流が自分達の成長に関わっていることに気付いている。(気付き)【発言・発表】

	<ul style="list-style-type: none"> ・「はじめの会」と「おわりの会」の代表の児童を決め、会の流れを学級や学年で練習する。 ・昔遊びを一緒に行うグループのメンバーや、自分が教えてもらう昔遊びの種類、「むかしあそび大会」の流れを知る。 																																											
2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">「むかしあそび大会」をたのしもう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・市民カレッジの方々から昔遊びを教えてもらいながら一緒に遊ぶ。 ※1クラスを13グループに分け、1組から3組までの混合チームとする。 ※各グループが3つの遊びをローテーションする。 ※1つの遊びは、移動を含め25分とする。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">種類</th> <th style="width: 40%;">ローテーション</th> <th style="width: 40%;">場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>すごろく</td> <td>1→2→3班</td> <td>家庭科室</td> </tr> <tr> <td>かるた</td> <td>2→3→4班</td> <td>多目的室</td> </tr> <tr> <td>あやとり</td> <td>3→4→5班</td> <td>図工室</td> </tr> <tr> <td>折り紙</td> <td>4→5→6班</td> <td></td> </tr> <tr> <td>はねつき</td> <td>5→6→7班</td> <td>体育館</td> </tr> <tr> <td>おはじき</td> <td>6→7→8班</td> <td></td> </tr> <tr> <td>輪投げ</td> <td>7→8→9班</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ビー玉</td> <td>8→9→10班</td> <td></td> </tr> <tr> <td>お手玉</td> <td>9→10→11班</td> <td></td> </tr> <tr> <td>こま</td> <td>10→11→12班</td> <td></td> </tr> <tr> <td>めんこ</td> <td>11→12→13班</td> <td></td> </tr> <tr> <td>けん玉</td> <td>12→13→1班</td> <td></td> </tr> <tr> <td>だるまおとし</td> <td>13→1→2班</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・「はじめの会」と「おわりの会」を行い、「おわりの会」では、みんなで感謝の気持ちを伝える。 	種類	ローテーション	場所	すごろく	1→2→3班	家庭科室	かるた	2→3→4班	多目的室	あやとり	3→4→5班	図工室	折り紙	4→5→6班		はねつき	5→6→7班	体育館	おはじき	6→7→8班		輪投げ	7→8→9班		ビー玉	8→9→10班		お手玉	9→10→11班		こま	10→11→12班		めんこ	11→12→13班		けん玉	12→13→1班		だるまおとし	13→1→2班		<ul style="list-style-type: none"> ・昔遊びに興味をもち、進んで関わろうとしている。 (関心・意欲・態度)【発言・態度】 ・市民カレッジの方々に昔遊びを教えてもらい、楽しく遊んだことを表現している。 (思考・表現)【発言・行動】 ・昔遊びの技や楽しさに気付いている。 (気付き)【発言・行動】
種類	ローテーション	場所																																										
すごろく	1→2→3班	家庭科室																																										
かるた	2→3→4班	多目的室																																										
あやとり	3→4→5班	図工室																																										
折り紙	4→5→6班																																											
はねつき	5→6→7班	体育館																																										
おはじき	6→7→8班																																											
輪投げ	7→8→9班																																											
ビー玉	8→9→10班																																											
お手玉	9→10→11班																																											
こま	10→11→12班																																											
めんこ	11→12→13班																																											
けん玉	12→13→1班																																											
だるまおとし	13→1→2班																																											
5 本時 (4/5)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">むかしあそびのおもしろいところをともだちにつたえよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・「むかしあそび大会」を振り返り、昔遊びのおもしろいところを生活科カードに書く。 ・市民カレッジの方々からは1グループ3つの昔遊びしか教わっていないので、教わっていない友達に昔遊びのおもしろいところを伝える練習をする。 ※2人か3人のグループで伝える。 ※伝える遊びは、各グループで1つ。2人か3人で昔遊びのおもしろいところを伝えたり、実演したりする。 ※練習する時は、市民カレッジの方々の教え方や言葉を参考にする。 ・昔遊びのおもしろいところを友達に伝える。 ※学習の場は、机を教室の後ろに下げ、椅子をコの字に並べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昔遊びのおもしろいところを進んで友達に伝えようとしている。 (関心・意欲・態度)【発言・態度】 ・昔遊びのおもしろいところを友達に分かりやすく伝えている。 (思考・表現)【説明・行動】 ・教わった昔遊びの楽しさに気付いている。 (気付き)【発言】 																																										

1	<p>じぶんも「むかしあそびのせんせい」になれるように、れんしゅうしよう。</p> <p>・前時で自分が伝えた昔遊びの「先生」になれるように、教え方を考え練習をする。</p>	<p>・教える練習を進んでしようとしている。 (関心・意欲・態度)【態度】</p> <p>・相手に分かりやすい教え方に気付いている。 (気付き)【発言・行動】</p>
6	<p>むかしあそびのせんせいになって、ともだちとむかしあそびをたのしもう。</p> <p>・昔遊びの先生になって、友達に昔遊びを教える。 ※1時間の授業で3つの遊びをする。 ※1つの遊びの説明と遊ぶ時間を約12分間とする。</p> <p>・昔遊びの先生になって、友達と昔遊びをして気付いたことを振り返りカードに書く。</p>	<p>・教わった昔遊びを友達と仲良く遊ぼうとしている。 (関心・意欲・態度)【発言・態度】</p> <p>・昔遊びの先生になって友達に分かりやすく教えている。(思考・表現)【説明・行動】</p> <p>・昔遊びの技や楽しさに気付いている。 (気付き)【発言・行動】</p>

5 本時の指導 (4 / 5)

(1) 目標

- 昔遊びのおもしろいところを進んで友達に伝えようとする。
(生活への関心・意欲・態度)
- 昔遊びのおもしろいところを友達に分かりやすく伝えることができる。
(活動や体験についての思考・表現)
- 教わった昔遊びの楽しさに気付くことができる。
(身近な環境や自分についての気付き)

(2) 展開

時配	学習内容と学習活動 反応 (◇) 期待する反応 (◆)	指導 (・) 仮説に対する手立て (※) 評価 (○) 【方法】 支援 (☆)	資料
2	1 単元計画を確認し、前時の学習を想起する。	<p>・単元計画のどの部分を学習しているかを確認し、全児童が本時の目標に迫れるようにする。</p> <p>※市民カレッジの方々に昔遊びを教えてもらったことを想起させることで、自分も昔遊びのおもしろさを友達に伝えたいという意欲をもてるようにする。 (仮説①)</p>	単元計画の掲示物
1	2 本時のめあてをつかみ、見通しをもつ。 むかしあそびのおもしろいところをともだちにつたえよう。		
2	3 伝える時と聞く時の観点について確認する。 (伝える時の観点) ・遊び方や上手に遊ぶ「こつ」等、ポイントを3つ程度伝える。 ・大きな声で話す。 (聞く時の観点) ・友達の目を見て最後まで話を聞く。	<p>※伝える時の観点と聞く時の観点を示すことで、表現活動を進んで行うことができるようにする。(仮説②)</p> <p>・伝える時の観点を示し、自信をもって教えるように助言する。</p> <p>・聞く時の観点を示し、友達の話を最後まで大切に聞くように助言する</p> <p>・伝える友達が中心となって楽しいと思える学習の場となるよう、皆で協力することが大切であると助言する。</p> <p>・昔遊びの全種類を本時の時間内に慌てて伝えさせることのないように、終了の時刻がきたら続きは次時に行うことを事前に伝える。そうすることで、気持ちにゆとりを与え、練習した通りに昔遊びのおもしろさを伝えることができるようにする。</p>	観点が書かれた掲示物

<p>38</p>	<p>4 昔遊びのおもしろいところを友達に伝える。 (伝えるポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お手玉 「手の平を広げます。」 「ポンポンとリズムよく投げます。」 「歌に合わせて遊ぶと楽しいです。」 ・けん玉 「膝を曲げます。」 「玉を空中に上げて紐を伸ばします。」 「軽く膝を曲げながら玉を受け止めます。」 『もしかめ』という技に挑戦します。」 ・めんこ 「四角と丸、いろいろな大きさの物があります。」 「あらかじめ何枚か並べておき、交互に投げ、多く取った方の勝ちです。」 「的をよく見て、手首を使って投げます。」 <p>(聞く側)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇上手にできたね。 ◇かんたんだね。 ◆そうやると上手にできるんだね。 ◆伝え方が分かりやすいね。 ◆今度一緒にやりたいな。 <p>2 5 気付いたことを発表し、次時の内容を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇楽しかったです。 ◇〇〇さんの伝える声が大きかったです。 ◆〇〇さんの伝え方が分かりやすかったです。 ◆お手玉のやり方が分かったので、今度やってみたいです。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆声が小さかったり、自信がもてずに話せなかったりする児童には、近くで寄り添って支援する。 ☆上手に遊ぶ「こつ」を実演する時に戸惑っている児童には、同じグループや聞いている友達に助言するように促したり、必要に応じて教師が直接支援したりする。 ○昔遊びのおもしろいところを進んで友達に伝えようとする。 (関心・意欲・態度)【発言・態度】 ○昔遊びのおもしろいところを友達に分かりやすく伝えることができる。 (思考・表現)【説明・行動】 ○教わった昔遊びの楽しさに気付くことができる。(気付き)【発言】 <p>・昔遊びのおもしろさに気付いている児童を皆の前で称賛するようにする。</p> <p>・次時の学習内容を伝える。</p>
-----------	--	---

6 板書計画

<p>が</p>	<p>むかしあそびのおもしろいところをともだちにつたえよう。</p> <p>(つたえるとき)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あそびかたや上手にあそぶ「こつ」など、ポイントを3つくらいつたえる。 ・大きなこえではなす。 <p>(きくとき)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ともだちの目をみて、さいごまではなしをしっかりときく。 <p>(じゅんばん)</p> <p>お手だま → けんだま → めんこ → こま → おりがみ → わなげ → だるまおとし → おはじき → ビーだま → はねつき → すごろく → あやとり → かるた</p>	<p>(きょうのがくしゅうで気づいたこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなむかしあそびのやりかたがわかって、たのしかったです。 ・ともだちにわかりやすかつたえることができよかったです。 ・〇〇さんのつたえかたがわかりやすかったです。 ・お手だまのやりかたがわかったので、こんどやってみたいです。
----------	--	---